



2026年10月号(第365号)



「SDGs 子ども・ユースフェア」を開催します
(P2)



「第13回三河湾大感謝祭」を開催します
(P3)



「アクション油ヶ淵 2026」を開催します
(P4)



「食品ロス削減イベント & ごみゼロ社会推進
あいち県民大会」を開催します(P5)



モリゾー あいち SDGs アンバサダー ©GISPRI

愛知県は「SDGs 未来都市」として、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた取組を推進しています。県の環境に対する取組は、環境局 Web ページ「あいちの環境」で紹介しています。

「あいちの環境」(<https://www.pref.aichi.jp/site/kankyo/>)



「SDGs 子ども・ユースフェア」を開催します



SDGs AICHI EXPO 実行委員会では、子どもから大人まで、SDGs について楽しく学べるイベント「SDGs 子ども・ユースフェア」を開催します。魅力的なコンテンツを多数用意していますので、どなたでも是非ご参加ください。

1 日時

11月7日(土)、8日(日) 10:00~17:00

2 会場

Aichi Sky Expo(愛知県国際展示場)展示ホールC
(常滑市セントレア5丁目10番1号)

3 主な内容

(1) ステージイベント(オンライン視聴可能)

- ・森三中の村上知子さん、黒沢かずこさん(お笑い芸人)による食品安全・消費者啓発ステージ
- ・学校の違いや障害、言葉の壁など全ての垣根を越えた少年少女合唱団地球組による合唱 等



©YOSHIMOTO KOGYO CO.,LTD.

森三中
村上 知子さん



©YOSHIMOTO KOGYO CO.,LTD.

森三中
黒沢 かずこさん

(2) ブース出展

大学生、高校生、企業、NPO、自治体など、約130団体が集まり、その取り組みを紹介します。

クイズ、ゲーム、工作、お土産の販売や試飲・試食などもありますので、幅広い年齢の方にお楽しみいただけます。



会場の様子

(3) お仕事体験

サステナブルな企業等によるお仕事体験を実施します。

- ・(株)あいち銀行

- ・あいち航空ミュージアム

- ・(株)アドヴィックス

- ・(株)NTT ドコモ

- ・加山興業(株)

- ・(株)テクノ中部

- ・トヨタ自動車(株)



水素燃料電池ミニカーの組み立て体験(トヨタ自動車(株))

(4) ワークショップ

- ・希少な鳥「コアジサシ」の保全に使用するデコイ(鳥の模型)の色塗り



ワークショップの例

- ・使われなくなった衣服などの端切れを使った枯れないフラワーボックス

- ・ミツバチの巣から採れた蜜^{みつろう}で作るオリジナルキャンドル 等

(5) スタンプリー

会場に設置したスタンプを集めると、抽選で素敵なエコグッズが当たります(各日先着1200名)。



景品の例

4 入場料

無料

5 事前予約

お仕事体験及びワークショップは公式サイトから事前予約を行ってください。

6 問合せ先

SDGs AICHI EXPO 実行委員会事務局

((株)新東通信 内)

電話: 052-971-6233 (平日 10:00~17:00)

メール: info@sdgs-aichi.com

詳細は公式サイトをご覧ください。

(<https://sdgs-aichi.com/>)

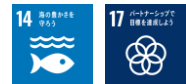


SDGs をみんなの手で

検索

環境政策課 企画・広報・法規グループ
電話 052-954-6210 (ダイヤルイン)

「第13回三河湾大感謝祭」を開催します



愛知県では、三河湾の環境再生に向けた取組の機運を高め、多くの県民の皆さんに関心を持っていたくため、「第13回三河湾大感謝祭」を開催します。

来場者に「もっと海が好き」になっていただけるよう、多様な主体が様々な企画に取り組みます。

是非お越しください。

1 日時

11月14日（土） 10:00～16:00

2 会場

竹島ベイパーク（蒲郡市松原町 943 番地）

3 主な内容

(1) ステージイベント

- ・セレモニー
- ・蒲郡市内の小学生による「三河湾環境チャレンジ発表」
- ・科学館トークショー
- ・キッズダンス
- ・三河湾〇×クイズ大会
- ・WoW キツネザルの「海を守りたくなるスペシャルクイズショー」
- ・さかな芸人ハットリ×YouTuber 野食ハンター 茸本朗の「魚の歌ネタ！三河湾の魚の魅力を語り尽くす！」



さかな芸人ハットリさん



YouTuber 野食ハンター茸本朗さん



WoW キツネザルさん

(2) 体験型コンテンツ

- ・水中ドローン操作体験会【一部事前予約】
- ・三河湾生きものタッチプール 等



水中ドローン操作体験の様子（昨年度）



タッチプールの様子（昨年度）

(3) ブース等

- ・蒲郡産「蒸し牡蠣」の無料試食
- ・三河湾産アサリのつかみ取り
- ・クイズラリー
- ・三河湾に関する活動紹介・ワークショップ
- ・三河食材を使用するキッチンカー



蒲郡産「蒸し牡蠣」



三河湾産アサリ

また、以下のイベントも同時開催します。

- ① 竹島水族館でのイベント「第7回がまごおり深海魚まつり」
- ② 名鉄西尾・蒲郡線の沿線をお楽しみいただけるウォーキングイベント「第15回にしがまシーサイドウォーク」

詳細はWeb ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/2026mikawawan-kansyasail3.html>)



水大気環境課 生活環境地盤対策室
三河湾環境再生グループ

電話 052-954-6220（ダイヤルイン）

「アクション油ヶ淵 2026」を開催します



油ヶ淵水質浄化促進協議会*では、愛知県内唯一の天然湖沼・油ヶ淵への関心を深め、楽しみながら環境のことを学んでいただくため、「アクション油ヶ淵 2026」を開催します。参加は無料です。

多くの方のご参加をお待ちしています。

*油ヶ淵の水質浄化を目的として 1993 年に設置。愛知県と油ヶ淵周辺 4 市（碧南市、安城市、西尾市及び高浜市）で構成。

- 1 日時 11 月 3 日（火・祝） 10:00～15:00
- 2 場所 油ヶ淵水辺公園 自然ふれあい生態園（安城市東端町丸ノ内）

3 内容（いずれも参加無料）

(1) 体験型講座（事前申込制）

「ミニビオトープを作ってみよう！油ヶ淵の生きもの講座」

時間 ①10:00～11:30、②13:00～14:30

対象 小学生以上（小学生は保護者同伴）
定員 各回 20 名程度（応募多数の場合、抽選）
申込期限 10 月 16 日（金）17:00 必着

(2) 各種ブース

- ・生きもの：「タッチプール」
- ・工作：「缶バッジ作り」、「エコバッグ作り」
- ・体験：「水質調査体験」
- 「地球を未来につなげよう（クイズ・展示）」
- 「水浄化の体験&くじつきヨーヨー釣り」



詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/action-aburagafuchi2026.html>)



水大気環境課 生活環境地盤対策室
三河湾環境再生グループ
電話 052-954-6220（ダイヤルイン）

県民向け「化学物質セミナー」を開催します



愛知県及び名古屋市では、化学物質に対する理解と関心を深め、正しい知識を身につけていただくため、県民の皆さんを対象とした「化学物質セミナー」を毎年開催しています。

今年度は、(一社)日本農薬学会 副会長の飯島和昭^{いいしまかずあき}さんを講師にお迎えし、毎日の食卓に欠かせない野菜や果物に使われる「農薬」について、その役割や安全性を解説いただくとともに、「野菜はよく洗った方がいい?」「野菜を選ぶときに気をつけることは?」など、消費者として知っておきたいポイントについても分かりやすくご講演いただきます。参加費は無料です。農薬のこと、この機会に聞いてみませんか?

- 1 日時 11 月 6 日（金） 14:30～16:00
- 2 場所 愛知芸術文化センター12 階
アートスペース A
(名古屋市東区東桜 1-13-2)

3 定員 150 名（申込先着順）

4 講演内容

農薬の基本と残留農薬について

5 申込受付 10 月 13 日（火） 9:00 から開始

6 申込先 名古屋市 環境局 地域環境対策課
環境影響評価担当

7 申込方法

「①氏名（カタカナ）、②電話番号、③お住まいの市町村名」を、電話（052-972-2697）又は FAX（052-972-4155）でお伝えいただくか、Web ページ（名古屋市電子申請サービス）からお申し込みください。

<電子申請ホームページ>



トップページ→
キーワード検索
→化学物質セミナー

環境活動推進課 環境影響・リスク対策グループ
電話 052-954-6212（ダイヤルイン）

「食品ロス削減イベント&ごみゼロ社会推進あいち県民大会」を開催します



愛知県では、食品ロスやプラスチックごみなどの問題を広く県民の皆さんに知っていただき、より一層、食品ロスの削減と3Rの普及を進めるため、「食品ロス削減イベント&ごみゼロ社会推進あいち県民大会」を開催します。是非ご参加ください。

1 日時 11月7日(土)、8日(日) 10:00~17:00

2 場所 愛知県国際展示場(Aichi Sky Expo)

展示ホールE (常滑市)

3 主な内容

(1) 食品ロス削減イベント

○トークショー

鈴木みのりさん(女優)

○講演会

島本美由紀さん

(料理研究家・食品ロス削減アドバイザー)

○フードドライブの実施 など



鈴木みのりさん

(2) ごみゼロ社会推進あいち県民大会

○トークショー&ミニライブ

平野莉玖さん(アーティスト)

○ごみゼロ社会推進表彰式

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/r8foodloss-kenmin.html>)



島本美由紀さん



平野莉玖さん

4 その他

事前申込不要・参加無料

「SDGs 子ども・ユースフェア」と同時開催

資源循環推進課 一般廃棄物グループ
電話 052-954-6234 (ダイヤルイン)

「フロン類排出抑制対策に関する講習会」を開催します



フロン類は、エアコンや冷凍・冷蔵庫などの冷媒として広く使用されてきましたが、オゾン層の破壊や地球温暖化の原因となることから、使用量の削減や排出抑制が求められています。そこで、愛知県では、フロン類の排出抑制等を推進するため「フロン類排出抑制対策に関する講習会」を開催します。

1 日時 10月30日(金) 14:00~16:30

2 場所 愛知芸術文化センター

12階 アートスペースA

(名古屋市東区東桜一丁目13-2)

3 内容

講演1「フロン排出抑制法改正の動向について」

今後、フロン排出抑制法がどのように変わるのか、その方向性について解説します。

講師：(一社)日本冷凍空調設備工業連合会

講演2「冷媒動向について」

冷媒を取り巻く環境について、次世代冷媒や再生冷媒、冷媒規制などを中心にお話しします。

講師：美浜(株)

4 定員・参加費 120名(申込先着順)・無料

5 申込期間

10月23日(金)まで

6 申込方法

右の二次元コードから申込フォームにアクセスし、お申込みください。

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/08furonkosyukai.html>)



水大気環境課 大気規制グループ
電話 052-954-6215 (ダイヤルイン)

あいち環境イノベーションプロジェクトの 2026 年度採択プロジェクトを決定しました



愛知県では、愛知発の環境イノベーションを創出・実装するため、本年 5 月から 7 月にかけて、全国のスタートアップ等から革新的な技術・アイデアを募集したところ、76 者から 83 件の応募がありました。

今回、ご応募いただいた提案の中から、学識者や専門家等からなる審査委員会において高く評価された 4 件のプロジェクトを採択しました。

今後、県は採択スタートアップとでワーキンググループを立ち上げ、県内企業とのマッチングや実証

フィールドの提供・紹介、専門家によるロードマップづくりなどの伴走支援を行っていきます。

こうした取組を 2029 年 3 月まで継続し、採択プロジェクトの社会実装を推進していきます。

採択プロジェクトの概要や進捗状況は、特設 Web サイトでお知らせしていきます。



特設 Web サイト

(<https://env-innovation.pref.aichi.jp>)

採択プロジェクト一覧

(五十音順)

会社名 [本社所在地・創業年]	プロジェクト概要
(株)ガルデリア [東京都中央区・2015 年]	【微細藻類を活用した貴金属のリサイクル】 微細藻類ガルディエリア由来の吸着剤を用いた新たな抽出・濃縮技術により、廃棄物から貴金属を高効率に回収します。 この技術を活用し、廃棄物回収から精錬までの新たなリサイクルシステムを構築し、国内での貴金属リサイクル率の向上及びリサイクル過程での CO ₂ 排出削減や排水負荷の低減を実現します。
サンリット・シードリングス (株) [京都府京都市・2020 年]	【環境 DNA 分析を基に最適処理した排水を使う水辺環境の創出】 環境 DNA 分析*により排水中や湿地帯に生息する微生物データの可視化に加え、排水処理システムの改善により、最適処理した産業排水を使ってビオトープ等の水辺環境を創出します。 これにより、事業者における排水の付加価値の向上とともに、地域における生物多様性の保全を実現します。 * 河川等の環境中に存在する生物の DNA を分析することにより、当該環境に生息する生物を把握する分析
(株)BLUABLE(ブルアブル) [兵庫県宝塚市・2024 年]	【新たな海藻導入技術によるブルーインフラの創出】 塗るだけで海藻が生える新たな技術等を活用して、地域固有の海藻の種苗をつけた資材を護岸・消波ブロック等の港湾設備等に設置し、低コスト・短期間にブルーインフラ* ¹ を創出します。 これにより、生物多様性・水産資源の回復、ブルーカーボン* ² の創出を実現します。 * 1 藻場、干潟等及び生物共生型の港湾設備 * 2 藻場や干潟等の海洋生態系に蓄積する炭素
REMARE(リマーレ)(株) [名古屋市昭和区・2021 年]	【AI・DX を活用した複合プラスチックのアップサイクル】 これまで焼却処理されてきた複合プラスチック*を、独自開発した素材データベースと DX プラットフォームを基盤に、AI で探索した最適方法により、高品質な再生板材に転換します。 これらの素材データ等を県内事業者と共有することで、複合プラスチックの循環型サプライチェーンを構築します。 * 種類の異なる樹脂が混在したプラスチックは、素材判別や分別が難しく、一般的にリサイクルが困難

環境政策課 環境イノベーション推進グループ
電話 052-954-6982 (ダイヤルイン)

10月はクリーン排水推進月間及び浄化槽強調月間です



愛知県では、「生活排水対策に関する基本方針」に基づき、10月を「クリーン排水推進月間」及び「浄化槽強調月間」と定め、市町村や浄化槽指定検査機関等と連携し、川や海などの汚れの主な原因である生活排水への関心を高めていただくとともに、浄化槽の適正な維持管理等について周知しています。

1 実践しよう！生活排水対策

浄化槽や下水道などでは、微生物の働きによって生活排水の汚れを分解し、きれいな水に処理していますが、その能力には限りがあります。汚れた生活排水を流しすぎないように心がけることが大切です。

私たちの身近には、簡単にできる生活排水対策がたくさんあります。皆さんも、できることから少しずつ始めてみましょう。

身近な生活排水対策



洗う前に汚れを拭き取る。



水切りネットを活用する。



油は直接流さず、古新聞などに吸わせて可燃ゴミに出す。



洗剤は適量を使用する。

2 浄化槽の適正な維持管理が大切！

浄化槽の本来の機能を十分に発揮させるため、浄化槽管理者（一般住宅の場合、世帯主）は浄化槽法で、①年1回の法定検査（水質検査等）の受検、②定期的な保守点検、③年1回以上の清掃の全てを行うことが義務付けられています。



3 単独処理浄化槽は合併処理浄化槽へ転換を！

単独処理浄化槽は、し尿のみを処理し、台所や洗濯、お風呂の水は未処理のまま放流するため、川や海などの水質汚濁の大きな原因となっています。また、設置後30年以上が経過し、老朽化しているものが多いため、漏水や破損のおそれがあります。使用している方は早急に合併処理浄化槽に転換してください（下水道が供用されている地域の方は遅滞なく下水道に接続してください）。県内の多くの市町村では、合併処理浄化槽への転換費用に対する補助制度を設けています。お住まいの市町村担当課までお問い合わせください。

なお、浄化槽本体に著しい破損又は劣化箇所があり、汚水が漏水しているなど、そのまま放置すれば生活環境や公衆衛生上重大な支障が生じるおそれがあると認められる単独処理浄化槽（特定既存単独処理浄化槽）は、除却（撤去）等を指導されることがあります。

4 その他

県及び市町村の広報紙等で生活排水対策や浄化槽の適切な維持管理等に係る情報を掲載しています。

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/clean-haisui.html>)



水大気環境課 生活環境地盤対策室
三河湾環境再生グループ
生活環境グループ
電話 052-954-6220・6219（ダイヤルイン）

2025年地盤沈下調査結果についてお知らせします



愛知県では、1961年から継続的に地盤沈下の状況を観測・調査しています。この度2025年に実施した地盤沈下の状況調査（水準測量）、地下水揚水量等の調査結果を取りまとめましたので、お知らせします。

1 2025年の地盤沈下の状況

地盤の高さを計測する水準測量を、尾張・名古屋市地域と西三河地域で実施しました。

両地域とも1cm/年以上沈下した水準点はなく、県内の地盤沈下はおおむね沈静化の傾向にあります（図1）。

2 地下水揚水量の状況

地盤沈下の原因の1つである地下水揚水量については、1975年度には県内で約2,500千m³/日ありましたが、揚水規制などの対策により大幅に減少し、2025年度には685千m³/日になっています（図2）。

3 まとめ

県内の地盤沈下はおおむね沈静化の傾向にあります。しかし、渇水時には、雨水など地下に浸透する水量の減少や揚水量の増加により、地下水位が急激に低下し、広範囲で地盤沈下が発生する可能性が依然としてあることから、引き続き地盤沈下の状況調査や地下水位の監視を行うとともに、地下水の揚水規制等を実施し、地盤沈下の防止に努めていきます。

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/0000035266.html>)



地盤沈下調査結果 愛知

検索

水大気環境課 生活環境地盤対策室
地盤沈下対策グループ

電話 052-954-6224（ダイヤルイン）

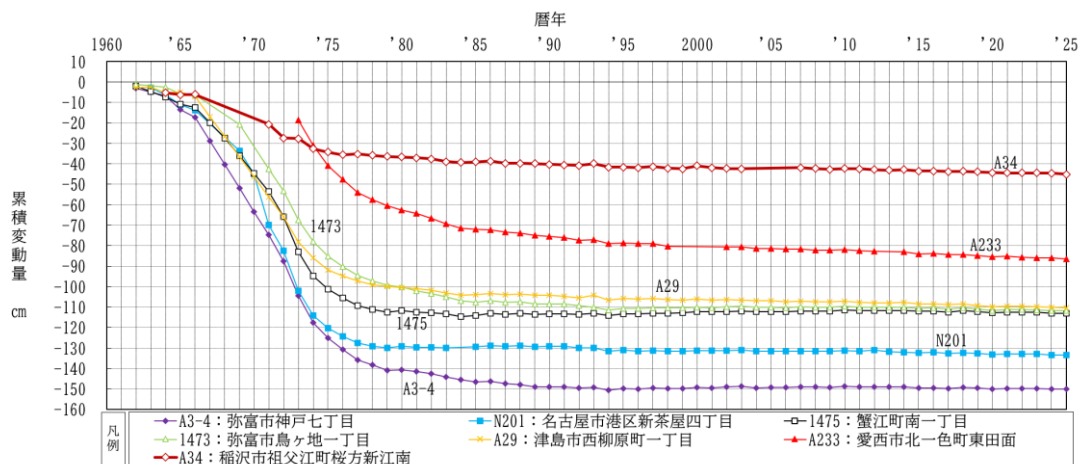


図1 主要な水準点の調査開始からの累積変動状況（尾張・名古屋市地域）

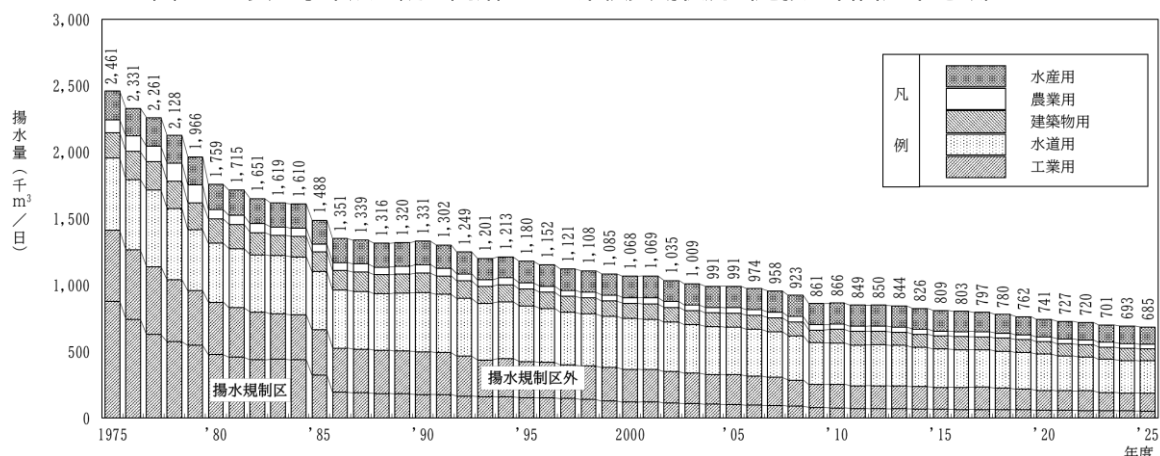


図2 愛知県の地下水総揚水量

2025 年度交通騒音・振動調査結果について

お知らせします



愛知県及び関係市町村では、毎年、交通騒音・振動の調査を実施しています。2025 年度の調査結果の概要は次のとおりです。

1 自動車騒音の環境基準達成状況

主要道路 1,209 区間 520,583 戸のうち 508,641 戸 (97.7%) で環境基準を達成しました (2024 年度は 1,199 区間 517,426 戸のうち 505,098 戸 (97.6%) で達成)。

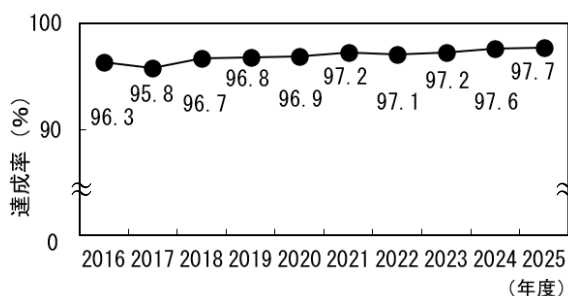


図1 環境基準達成率の経年変化 (自動車騒音)

2 自動車騒音・振動の要請限度超過状況

- ・騒音は調査地点 102 地点のうち 3 地点で要請限度*を超過しました (2024 年度は 115 地点のうち 6 地点で超過)。
- ・振動は調査地点 40 地点全てで要請限度を下回りました (2024 年度は 47 地点全てで下回る)。

* 要請限度

騒音・振動が一定の限度を超え、道路周辺の生活環境が著しく損なわれると認められるとき、市町村長が公安委員会等に措置を執るよう要請する際の限度 (数値) のこと

3 新幹線鉄道騒音の環境基準達成状況

調査地点 76 地点のうち 60 地点 (78.9%) で環境基準を達成しました (2024 年度は 76 地点のうち 60 地点 (78.9%) で達成)。

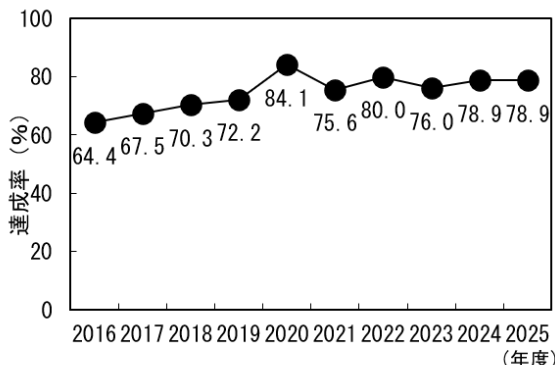


図2 環境基準達成率の経年変化 (新幹線騒音)

4 新幹線鉄道振動の指針値達成状況

調査地点 30 地点全てで指針値を達成しました (2024 年度は 30 地点全てで達成)。

5 航空機騒音の環境基準達成状況

【県営名古屋空港】

調査地点 15 地点のうち 9 地点 (60.0%) で環境基準を達成しました (2024 年度は 16 地点のうち 10 地点 (62.5%) で達成)。

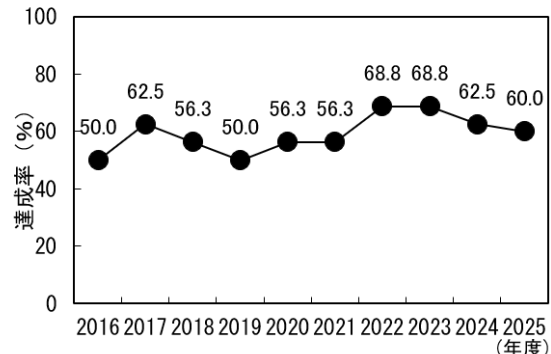


図3 環境基準達成率の経年変化 (県営名古屋空港)

【中部国際空港】

調査地点 5 地点全てで達成しました (2007 年度以降、5 地点全ての調査地点で達成)。

6 今後の対応

県及び関係市町村では、引き続き環境基準達成状況等を監視するとともに、関係機関と連携して交通騒音・振動対策を推進していきます。



騒音調査の様子

詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/2025souon-shindou.html>)



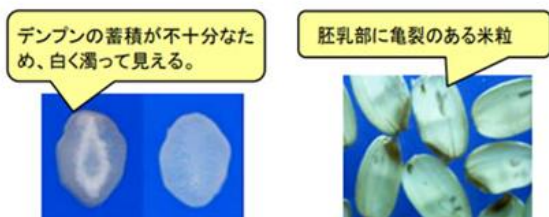
水大気環境課 生活環境地盤対策室
生活環境グループ

電話 052-954-6214 (ダイヤルイン)

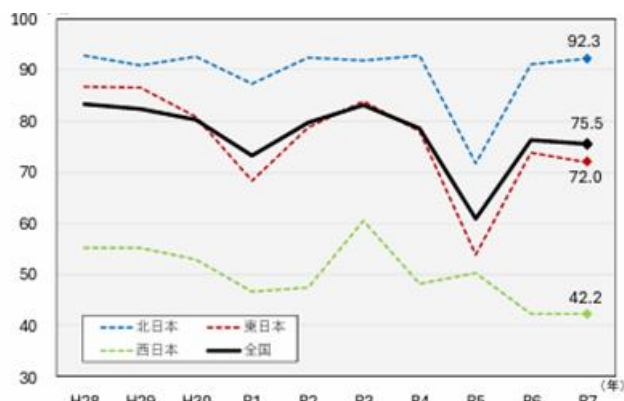
○ 気候変動により米の品質が低下

近年の気候変動に伴う猛暑は、全国の米づくりに大きな影響を与えています。お米が実る時期に高温になると、でんぷんが不足し白く濁った「白未熟粒」や、胚乳の部分に亀裂が入った「胴割粒」が発生することが明らかになっており、品質低下を招く深刻な課題となっています。令和7年産米では、夏の平均気温が平年を大きく上回ったことから、全国的に白未熟粒の発生が多く見られました。発生割合は作付面積ベースで3～4割に達し、特に西日本では5～6割の地域で確認されるなど、高温による影響の大きさが改めて示されました。

白未熟粒、胴割粒の様子



水稻うるち玄米の一等米比率の推移



出典：令和7年地球温暖化影響調査レポート（農林水産省）

○ 暑さに強い新品種「あいちのこころ」

愛知県でも気候変動に対応した米づくりへの取組が進んでいます。県農業総合試験場と JA あいち経済連は共同で「あいちのこころ」を開発しました。この品種は、県内で最も多く栽培されている「あいちのかおり」をベースに、暑さや害虫に強い遺伝子を持つ品種と交配を重ね、2025年5月に品種登録されました。高温条件下でも白未熟粒の発生が少なく、品質の高い米を安定して生産できることが大きな特長です。

写真「あいちのこころ」の草姿



出典：水稻早生品種「あいちのこころ」の導入事例について（愛知県）

○ 本県の高温耐性品種の作付状況

農林水産省の「地球温暖化影響調査レポート」によると、本県の令和7年産の主食用米作付面積に占める水稻高温耐性品種の割合は7.2%と前年（2.4%）の3倍に増加しており、気候変動に適した高温耐性米の栽培が広がっています。

愛知県気候変動適応センター
環境調査センター 企画情報部
電話 052-910-5489（ダイヤルイン）

※掲載のイベントや講習会等は、天候の影響等により、内容を変更又は中止する場合があります。

愛知県環境情報紙「環境かわら版」（第365号）

発行日 2026年10月6日

編集・発行 愛知県環境局 環境政策部 環境活動推進課
愛知県環境調査センター 企画情報部

URL <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo-c/0000007029.html>
(今月号とバックナンバーを掲載しています。)



掲載記事は広報紙等へ再掲していただきますようお願いいたします。